



世界遺産CITY
宗像
Sacred Island of Okinoshima and
Associated Sites in the Munakata Region

むなかた タウンプレス

2019
平成31年
1/15
No.380



手作業での大豆の脱殻を地元農家の水上さんに教えてもらいながら
さまざまな大きさの大豆を笑顔で収穫した自由ヶ丘南小の3年生たち



豆まき情報



毎年節分の日には災難を除き、邪鬼などを追い払う豆まき。宗像大社では厄年払い祈願とともに、豆打ち式が盛大に行われます。

期 2月3日(日) 所 宗像大社

* 詳細は宗像大社HPで確認を



宗像産のいり大豆で
豆打ち式の準備



場が広がっています。

また、生産者や地域の人をゲストティーチャーとして招き、野菜の栽培や収穫、大豆の加工や郷土料理の指導をしてもらうなど、子どもたちの食育体験の場が広がっています。

市内の学校では、地場産物を活用した給食や食に関する授業を通して、子どもたちへの食育を行っています。

給食時間には子どもたちが校内放送で、宗像産の食材や生産者、栄養価などを献立内容とともに紹介しています。

また、生産者や地域の人をゲストティーチャーとして招き、

＊7ページでは大豆の栄養価などを紹介しています

☎ 秘書政策課広報担当
(36) 1055

「食」への気付きが 子どもたちの心に芽生えるように

給食食材の納入や、食育の授業の手伝いをしていきます。子どもたち自身がさまざまな食育体験を通して「食」に関心を持ってほしいと思います。



ゲストティーチャーの水上拓哉さん

子どもたちと地域を食でつなぐ！

大豆生産が盛んな福岡県は、全国4位(平成29年)の生産量を誇り、一戸当たりの収穫量は宗像市が県内1位。さらに農林水産大臣賞「大豆づくり日本一」を2度も受賞した優良産地です。日常の食卓に欠かせない豆

腐、しょうゆ、みそなどは大豆が原料ですが、流通している9割が価格の安い輸入大豆です。地産地消を通して、日本の農業と私たちの「食」を守るため、大豆などの地元食材を活用した給食や食育を進めています。

全国に誇る宗像産の大豆

今号の主な内容

- 確定申告のお知らせ…………… ②③
- みさこの「伝えタイ！」通信…………… ④
- 平成31年度学童保育所入所児童募集…………… ⑤
- 情報ステーション…………… ⑥
- 宗像のいきいき食材で元気に「健康むなかた21」⑦

宗像市公式ホームページ

<http://www.city.munakata.lg.jp/>

宗像市公式フェイスブック

<https://www.facebook.com/munakata.city>



むなかたタウンプレスは、常用漢字と新聞用字用語集を基本に、市独自の用字用語を定めて編集しています。また、市民のみなさんの居住地は、コミュニティ地区名で表記しています。

人のうごき

(平成30年11月末日現在) (平成30年11月中の異動数)
▽人口=97,101 ▽転入=245 ▽出生=57
▽世帯=42,457 ▽転出=260 ▽死亡=67
▽男性=46,402 *印刷日の関係で平成30年12月末現在の「人のうごき」が掲載できません
▽女性=50,699 市HPで確認を

発行：宗像市 〒811-3492 福岡県宗像市東郷1-1-1
代表：☎0940(36)1121 FAX0940(37)1242